

令和7年3月6日 庁議議事要旨

庁議開催日		令和7年3月6日
開催時間		午前8時30分～午前10時
参加者		区長、副区長、教育長、各部長、児童相談所長、江戸川保健所長、区議会事務局長、他参与
報告 ①	報告タイトル	区内刑法犯認知状況（令和6年12月末、令和7年1月末）
	所管部署	危機管理部
	報告内容	令和6年12月末時点の刑法犯認知状況では、区内刑法犯認知件数は少ない方から23区中19位、犯罪率は11位であり、いずれも11月末の順位から変化はない。自転車盗認知件数では、少ない方から23区中22位と順位を1つ上げた。 区内刑法犯認知件数の推移としては、令和3年の戦後最少から増加に転じていたものの、令和6年（4,722件）はわずかに減少した（前年比67件減）。自転車盗被害状況の推移も、令和4年から増加傾向であったが、令和6年はわずかに減少し、23区中ワースト1位を脱し22位であった。被害場所については、共同住宅の割合が最も多いが、割合はわずかに減少し、その分駐輪場や商業施設等での被害が増加している。区内の特殊詐欺被害状況の推移は、前年比で件数はわずかに減少したが、直近10年間で被害金額が最も多かった。 令和7年1月末の刑法犯認知状況は昨年と大きな変化はないが、自転車盗認知件数は昨年同月に比べ41件減であり、減少数1位であった。
報告 ②	報告タイトル	特別養護老人ホーム（共生型の複合施設）の開設
	所管部署	福祉部
	報告内容	共生型の複合施設として新たな特別養護老人ホームが開設される。特別養護老人ホームとしては区内24か所目。運営主体は社会福祉法人自靖会。特別養護老人ホームに加えて、ショートステイ、生活介護、就労継続支援B型、居宅介護支援事業所が併設される。開設日は令和7年6月1日、場所は江戸川区鹿骨4丁目である。入所説明会は5月を予定している。
報告 ③	報告タイトル	生活保護利用者・くらしごと相談室利用者へのアンケートの実施
	所管部署	福祉部
	報告内容	「（仮称）生活に困窮しても安心して暮らせるまち条例」の制定に向け、当事者の声を聴くとともに今後の業務運営に活かすため、令和7年3月24日～5月16日の期間にアンケートを実施する。生活保護を利用する約15,000世帯の世帯主とくらしごと相談室を利用する535世帯の世帯主を対象とする。生活保護を利用する世帯については3月の全世帯宛ての定例通知書類に同封して発送、くらしごと相談室を利用する世帯については相談時に手渡し、利用終了世帯は郵送を予定している。回答方法はアンケート調査票の返送、またはインターネットからとなる。調査結果は令和7年7月頃の公表を予定している。
報告 ④	報告タイトル	学校サポート教室の改称
	所管部署	教育委員会事務局
	報告内容	不登校及び不登校傾向の児童・生徒の居場所・学び場として区内6か所に学校サポート教室を設置している。令和6年11月に、通室生に「学校サポート教室の名称を変えようとしたらアンケート」を実施した。18件の応募があり、通室生80人による投票を行ったところ、「みらいサポート教室」が42票で最多となった。今後、教育委員会にて規則変更を行う予定である。
報告 ⑤	報告タイトル	令和7年度 地域学習塾「EDO塾」報告
	所管部署	教育委員会事務局
	報告内容	学ぶ意欲は高いが、家庭の事情等により塾等の学習機会が少ない中学3年生を対象に、9月10日に地域学習塾「EDO塾」を開講した。平日2日、午後6時から9時に中央図書館、小岩図書館、西葛西図書館で実施した。指導教科は数学、英語、理科、社会である。冬期講習も5日間あり、指導教科は国語を含めた5教科であった。入塾者は51名である。希望校の進学率については、第一志望校への進学が86%の43名、第二志望校への進学が14%の7名であった。

令和7年3月6日 庁議議事要旨

庁議開催日		令和7年3月6日
イベント①	報告タイトル	第33回 小岩アーバンプラザサークルまつり
	所管部署	生活振興部
	報告内容	3月8日と9日、小岩アーバンプラザにて「第33回 小岩アーバンプラザサークルまつり」が開催される。「広げよう やさしさと ふれあいの輪」をテーマとし、日頃のサークル活動の成果を発表するとともに、サークル間の交流を図り、コミュニティ活動の増進に寄与することが目的である。加盟団体数は47団体であり、ステージ発表や作品展示、模擬店、物産販売が予定されている。
イベント②	報告タイトル	第27回 篠崎サークルまつり
	所管部署	生活振興部
	報告内容	3月8日と9日、篠崎コミュニティ会館にて「第27回 篠崎サークルまつり」が開催される。「ふれあいとやさしさ奏でる篠崎の調べ」をテーマとし、篠崎コミュニティ会館及び篠崎コミュニティホールを利用しているサークルが、日頃の活動の成果を発表してサークル間の交流を図り、地域住民とのふれあいの中でコミュニティ活動の増進に寄与することが目的である。加盟団体数は29団体であり、ステージ発表や作品展示、模擬店、囲碁コーナーが予定されている。